

消防通信

No.39

全力で その先へ 双葉消防！

(令和3年双葉消防本部スローガン)

発行日：令和3年4月1日
発行元：双葉消防本部 総務課
所在地：榎葉町大字山田岡字仲丸1-110

～東日本大震災から10年を振り返って～

東日本大震災以降も多くの自然災害・事故が発生しております。
双葉消防本部では、近年多様化する災害に対応するため、各種資器材を整備するなど、住民の皆様へ安全・安心を届けるため活動しております。

—多様化する災害—



平成28年
常磐自動車道における
多数傷病者発生事故

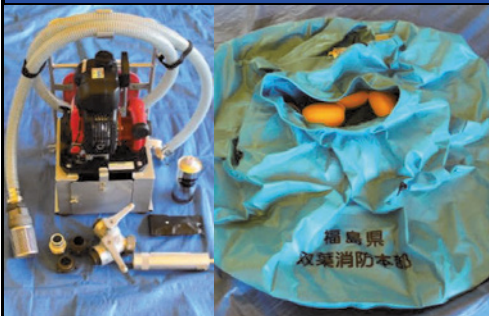


平成29年
帰還困難区域における
林野火災 (浪江町十万山)



令和元年
台風19号による
甚大な被害発生

—消防戦術の新たな展開—



平成30年度配備
林野火災対応資器材



平成30年度配備
消防活動用無人航空機
(ドローン)



令和2年度配備
遠距離大量送水
システム車



山 火 事 に注意しましょう！



春は空気の乾燥や強風が吹くため、山火事が発生しやすくなります。その原因のほとんどは、たき火やたばこ等、人の不注意によって発生しています。

貴重な森林を山火事から守るため、ハイキングや山菜採りなどで山に入るときは、火の取り扱いに十分注意してください。

〔山火事を防止するために、次のことに注意すること！〕

◆たき火や火入れなどを行う作業や周辺住民の方◆

- (1)強風及び乾燥時には、たき火、火入れをしない
- (2)事前に消火のための水等を準備する
- (3)枯れ草等のある火災が起こりやすい場所では、たき火、火入れをしない
- (4)火気の使用中にはその場を離れず使用後は完全に消火する

◆登山や山菜採り等のレジャー目的で入山等をする方◆

- (1)たばこの投げ捨てはしない
- (2)キャンプ等で使用した火の後始末は確実にを行う



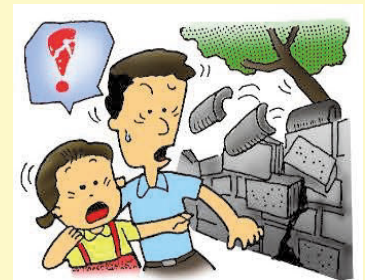
地 震 に対する備えを再確認しましょう！

去る2月13日(土)に福島県沖を震源とする最大震度6強の地震が発生しました。

いつ起きるかわからない地震に備え、常日頃から準備をしておきましょう。

【地震のために備えておくこと】

- ・非常用持ち出し袋の準備
- ・家具類の転落・落下防止対策
- ・ケガの防止対策をしておく
- ・消火の備え(消火器・水バケツ等)
- ・家族で緊急時の話し合いをしておく
- ・ハザードマップ等で危険箇所の確認
- ・家屋や塀の強度を確認しておく
- ・火災の早期発見・防止対策(住警器等)



火災・救急・救助は『119番』！！



連絡先

双葉消防本部
富岡消防署
檜葉分署
川内出張所

0240-25-8523
0240-22-2119
0240-25-2119
0240-38-2119

消防指令センター
浪江消防署
葛尾出張所

0240-25-8561
0240-34-4111
0240-29-2119

